

感ずるままに

岩関順雄（西城町一丁目在住）

「おまんも来てみないかね」と誘われて、上越に住んでいるのですが観覧会などJネットのふるさと交流会に、これまでも何回か参加させていただいています。

そして今回は、十月五、六日の「くわどり湯つたり村」での稲刈り体験ツアーに参加しました。稲刈り前夜の懇親会では、私が上越で剣道を一緒にやっている重野さんのお姉さん（中村さん）も参加されており、はじめてお会いする偶然もありました。

お米は日中が暑く、夜は涼しく水の清いところで収穫したものが美味しいとされています。今回、田植えから稲刈りの体験に提供された棚田は海拔一〇〇メートルの所にあり、有機減農薬栽培で、その上、はさかけの天日乾燥ですから安全・安心、まちがいなく美味しいことで



しょう。これからもっと、参加される方がどんどん増えれば荒地になる一方の棚田も、米を作るといふばかりでなく景観の保存、治山・治水等の役目を果たすこ

とができます。

今ではすっかり有名になった謙信公の「義の塩」の仕掛け人は、Jネットの方々だと言ふことを上越市民のどの位の方が知っているでしょうか。八月にNHK・BS2で放送された「おーい、につぼん！とことん新潟県」は見えていませんが、地元JCVで放送された谷浜特集でも「義の塩」についてはJネットの提案で始まったということに触れていませんでした。

Jネットは上越に縁のある方々が、お互いの親睦を図ることと合わせて、熱い想いで「ふるさと上越」の発展を応援することを目的としているそうです。一部開わりのある上越市民しかJネットのことを知らないのではないのでしょうか。Jネットの存在や活動をもっと広報する必要があります。

私は里親会員になっています。友人、知己数人に上越市の情報（広報誌など）や、年末には「ふるさとカレンダー」が私の名前で送られて行き喜ばれています。私と同じように里親になっている会員はごく少数ではないかと想像できます。

Jネットの目的を果たすには会員数が多いことが大切でしょう。私共、上越に住んでいるものも大いに頼りにしています。そのためには是非とも、地元住民の



会員加入が必要なのではないのでしょうか。幸い賛助会員にマスコミの方が居られます。Jネットの存在をもっとPRされたらどうでしょうか。

ふるさと上越ネットワークの更なる発展、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。